

第2510地区 第11グループ



2010~2011

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

2010~11年度  
国際ロータリーのテーマ

地域を育み、  
大陸をつなぐ



2010~11年度  
国際ロータリー会長

レイ・クリンギンズミス

*Ray Klinginsmith*

BUILDING COMMUNITIES  
BRIDGING CONTINENTS

阿部誠太 会長テーマ — ロータリー精神の初源に帰ろう —



3月9日 クラブアッセンブリー 森元ガバナー補佐 於 函館国際ホテル

《第2282回例会》 第33号 3月16日(水)

本日のプログラム

藤田正男会長エレクトPETS報告

★会長 阿部誠太 ★幹事 増山 正

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 二子ビル4F TEL23-3870

医療法人社団 藤 紀 会  
**斎藤** 内科 消化器科 **医 院**

院 長 斎 藤 紀 一

函館市万代町 1 - 1 3 (グルメシティ万代店横)  
 TEL (0138) 45 - 1118 (代)

(広告掲載：斎藤 紀一 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

【3月15日現在のアクセス数：11348件(+25件)】

◎ 2月23日出席報告 (小河 博保 副委員長)

会 員	24名	出席率対象会員	23名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	1名
当日出席	19名	当日欠席	4名
他クラブ出席	3名	出席合計	22名
出席率	95.65%		

・テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番

次回・3月23日  
**プログラム**

卓話「はこだて - 元町散策 -」

観光ボランティア「愛」 佐藤 裕昭 氏

3月9日の記録

◎司 会 阿部 誠太 会長

◎斉 唱 奉仕の理想、四つのテスト

◎ゲ ス ト 国際ロータリー第2510地区 ガバナー補佐 森元 浩 氏

◎会長報告 阿部 誠太 会長

○特にありません。

◎委員会報告

○次年度幹事 小河 博保 会員

・例会終了後、次年度理事会を開催します。

◎幹事報告 増山 正 幹事

○当クラブ3月30日(水)の例会は自主休会に変更致します。

○例会終了後、理事会を開催いたします。

○第2510地区社会奉仕活動レポートが届いておりますので回覧  
します。

○麻薬・覚醒剤乱用防止センターからニュースレターが届いて  
おりますので回覧します。

◎親睦活動委員会 小河 博保 委員長

ニコニコBOX投入報告

阿部会長・増山幹事・森 会員・中川会員・小笠原会員・弗田会員・増田会員・藤田会員

……森元ガバナー補佐をお迎えして。

石橋会員……結婚祝ありがとうございます。



誕生祝 南木会員



結婚祝 石橋会員

◎卓話 国際ロータリー第2510地区 ガバナー補佐 森元 浩 氏

3月に入り、会長・幹事さんもだいぶ気が楽になってきた頃でしょうか。しかし、今日も雪が降るなどしておりますように、まだまだ気を抜かないで行きたいと思います。残り4ヶ月になり、残す大きな行事は6月のIMとなりました。なぜこんな時期にと言われますが3月はPETS、4月は統一地方選挙、5月は世界大会ということで、やむなく6月とした訳ですが、一年の総括と考えれば6月の開催も意味があるのではないかと思います。現在、実行委員会が中心となり詳細を詰めておりますので、はっきりと決まりましたらご説明申し上げますので、もう少しお待ち願います。現在決まっていることを申し上げますと、お金をかけないIMにしたいので、講師の方をお呼びしての講演などはやらず、代わりに各クラブの会長さんに自分のクラブの紹介をしていただこうと思っています。各クラブのメンバー同志なかなか顔を合わせる機会がないと思いますので、これを機に他クラブの方々との交流も大きなメリットになるかと思っています。勉強はもちろん大事ですが、交流も大事かと思っています。



テーマとしてはロータリークラブの根本である奉仕活動についての各クラブの取り組みを話していただく予定です。

ロータリークラブは200を超える国と地域に120万人以上の会員を有する世界最大の奉仕団体です。1に組織の形がきちんとして、2に組織の目標がしっかりとしています。ロータリーのバッジをつけ、例会をきちんと運営しながら奉仕の理想、超我の奉仕、4つのテストなど、これら理念をしっかりと持って活動しています。

このロータリークラブの定款が変わりました。主に3つのことが変わりました。1. 新世代が加わり5大奉仕になった、2. クラブを移る際のお金の引き継ぎ(トラブルがあった)、3. 4つのテストなどの倫理をしっかり守っているか、という点です。

今年度佐々木ガバナーは3つの地区目標を掲げました。1. 地域密着型の奉仕活動、2. CLP導入、3. 一人100ドルの財団への寄付、です。これらの進行状況ですが、1については、ロータリークラブは組織の目標をしっかりとさせることが活動の原点であります。坂崎社会奉仕地区委員長が各クラブの社会奉仕活動をまとめたパンフレットを作成しました。現在回覧していただいていますのがそれです。各クラブを訪問してみると、みんなで奉仕活動をしているクラブというのは、非常に元気があるクラブに見えます。これが何よりロータリーの原点ではないかと思えます。

次に一人100ドルの寄付です。12月にガバナー補佐会議があり各クラブの納入率の表が配布されました。我が11グループは低い値でしたが年度末には達成しているはずなので安心してくださいと話してあります。最後にCLPについてです。12月に発表された数字では導入しているクラブは全体の28%、これから導入するつもりクラブが34%、導入するつもりがないクラブが38%との結果でした。世界的にみると2007年の時点で70%のクラブが導入しているようなので、日本は少し遅れ気味だそうです。ただしCLPは上からおろされて、やれといわれてやるものではなく、各クラブが十分議論して導入するかどうかを判断してほしい。よく4大奉仕がなくなるとも言われるが、決してそうではない。柱として会員基盤の維持拡大と言われるようになったが、維持のためには変わっていかなければいけない。それを考えるだけでもCLPの活動になります。クラブがあつて地区がある訳です。地区からの命令で出来ることなんてありません。各クラブが会長を中心としてこれをやる、といえればクラブが自主的に様々なことをできるのです。自主的にやることが大事だと思います。CLPが何かといえば、管理的運営の枠組みであり、クラブの活性化をはかり、元気をもって活動するために足下を見直し、夜間例会にて親睦を深めたり、女性会員をいれたらどうかを議論したり、どうすればクラブが発展していけるかを考える運営指標がCLPだと思います。昔の服を着ていても、体型が変われば新しい服を新調します。それがCLPです。4大奉仕の土台の上の運営指標がCLPで、その上に4つの柱で良いクラブが出来上がるのではないのでしょうか。

(会報担当者：森 秀樹 委員)